

法人名 (公財)やまなし文化学習協会

公益法人用

【法人の概要】

代表者名	大澤 英二		所管部(局)課	企画県民部生涯学習文化課		
所在地	甲府市朝気1-2-2		電話番号	055-235-4171		
ホームページURL	http://www.yamanashi-bunka.or.jp		E-mailアドレス	info-bun@yamanashi-bunka.or.jp		
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	平成11年4月1日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		15,000	千円	50.0 %
	2	やまなし文化学習協会		15,000	千円	50.0 %
	3				千円	0.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
その他	団体(者)			千円	0.0 %	
設立経緯概況等	<p>設立目的:個性あふれる文化の創造と生涯学習社会を構築するための環境や人づくりを支援し、潤いのある県民生活の実現に寄与する。概況:文化の香り高い山梨の実現に向け、県民の自発的な芸術文化、生涯学習を支援し、生涯学習を基盤とした生涯設計、社会生活の創造、地域文化の振興を図るとともに、地域社会の活性化を担う人材の育成に資するための事業を実施している。</p> <p>指定管理者制度を導入した山梨県立県民文化ホール(平成18年度から3年間)、山梨県県民会館(平成18年度から25年度まで)、甲斐市双葉ふれあい文化館(平成20年度から3年間、引き続き平成23年度から27年度まで)及び山梨県立男女共同参画推進センター(平成21年度から25年度まで)の管理運営。また、生涯学習推進センターについては平成11年度から県から業務委託を受け、管理運営と県民の生涯学習活動の支援を行っている。</p>					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H21年度	H22年度	H23年度
事業1 男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向けて各種講座を開催し普及啓発を図る。男女共同学講座等の開催。また、女性の一般的な問題悩みに対して電話及び面接による女性総合相談を行っている	139,601	142,727	142,081
事業2 芸術文化振興事業	甲斐市双葉ふれあい文化館において芸術観賞事業や市民芸術文化活動の支援等を行っている	55,094	51,015	53,490
事業3 生涯学習推進事業	学習情報の収集・提供、まなびネット運営、移動学習相談事業、山梨学講座等の開催ほか	46,522	47,027	45,216

【組織】

年度	平成22年度					平成23年度					平成24年度								
	職 員	プロ パ ー	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パ ー	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パ ー	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	
4月1日現在の人員																			
役員	理事(常勤)	1	1				1	1				1	1						
	理事(非常勤)	10		2		8	10		2		8	10		2		1	7		
	監事(常勤)	0					0					0							
	監事(非常勤)	2		1		1	2				2	2					2		
	評議員	11			2	9	11		2		9	11		1			10		
計	24	1	5	0	18	24	1	4	0	19	24	1	3	1	19				
職員	管理職	5	5				5	5				5	5						
	一般職員	11	11				10	10				10	10						
	臨時職員	3	3				6	6				5	5						
	非常勤職員	12	11		1		11	10		1		10	10						
計	31	30	0	1	0	32	31	0	1	0	30	30	0	0	0				
プロパー職員の年齢構成(H25.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計											
	男性		1		7	6	1	15	役員	※								(千円)	
	女性			2	7	5	2	16	常勤									※	
	合計	0	1	2	14	11	3	31	職員									(千円)	
※ 常勤役員は1名のため、個人情報保護の観点から非公開													平均年齢	50.1	平均年収	5,872			

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
正味財産の状況	基本財産運用益	38	15	6	△ 9
	受取会費・受取寄付金				0
	受託事業収益	214,871	219,135	217,064	△ 2,071
	自主事業収益	26,922	24,201	28,064	3,863
	受取補助金等	5,566	800	1,600	800
	その他の収益	19,742	15,536	16,161	625
	経常収入 計	267,139	259,687	262,895	3,208
	事業費	255,484	247,420	247,479	59
	うち人件費	127,446	135,522	134,355	△ 1,167
	管理費	13,317	11,599	12,135	536
	うち人件費	11,416	10,511	11,017	506
	経常支出 計	268,801	259,019	259,614	
	当期経常増減額	△ 1,662	668	3,281	2,613
	経常外収入	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 1,662	668	3,281	2,613
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	95,297	95,965	99,246	3,281	

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
財務状況	流動資産	105,602	99,844	95,747	△ 4,097
	固定資産	15,182	15,001	30,494	15,493
	資産 計	120,784	114,845	126,241	11,396
	流動負債	25,487	18,879	26,995	8,116
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	0	0	0	0
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	25,487	18,879	26,995	8,116
	正味財産	95,297	95,966	99,246	3,280
	うち基本財産への充当額	15,000	15,000	30,000	
うち特定資産への充当額	0	0	0	0	

(単位:千円)

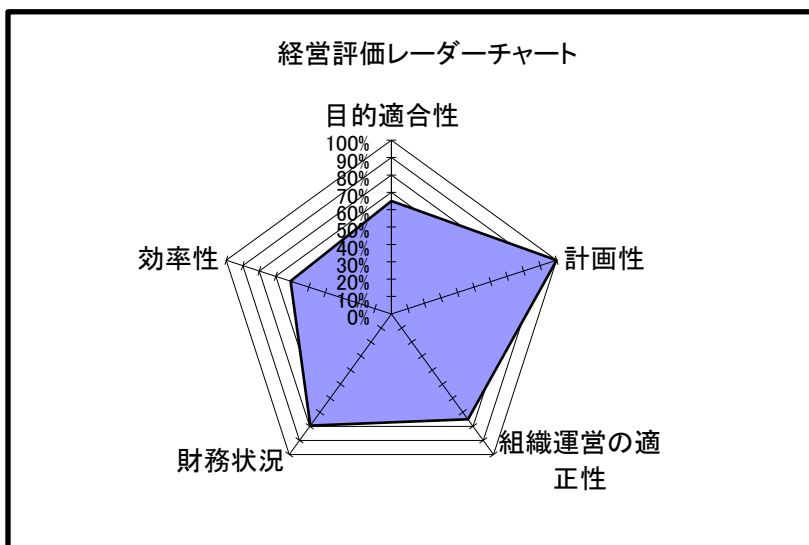
項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	3,695	0	0	0
	補助金 計	3,695	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	36,211	39,981	37,854	△ 2,127
	人件費以外の委託金	138,860	139,354	139,440	86
	委託金 計	175,071	179,335	177,294	△ 2,041
	県支出金 計	178,766	179,335	177,294	△ 2,041
	県の財政的関与の割合(%)	66.9	69.1	67.4	△ 2
県貸付金残高	0	0	0	0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	なし
補助金 (運営費)	地域の芸術環境づくり助成事業 (双葉ふれあい文化館)
補助金 (事業費)	県民会館展示会場の管理運営、生涯学習推進の拠点施設である県生涯学習推進センターの運営。男女共同参画推進の拠点施設である県男女共同参画推進センターの管理運営
委託金	指定管理委託料
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	13	65.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	平成21年度に経営状況が大きく変化したことから厳しい経営状況となっているが、経営計画に基づき一定の黒字を確保し、財政基盤の一	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	35	79.5%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	9	36	22	61.1%
合計		34	136	102	75.0%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立目的に適合した業務を適切に行っており良好である。
計画性	中長期計画、年次事業計画に基づいた運営をしており良好である。平成21年度からは管理運営施設の変更に伴い、より健全な協会運営をしていくため経営計画を作成した。
組織運営の適正性	平成21年3月末には組織・人事・財務等の内部管理体制を新たに整備をした。又事業報告・財務情報等は適切に公開しているので良好である。
財務状況	各施設とも経費を抑えながら事業を実施し、利用者の増加を図っている。また、常に収入・支出の状況のチェックを行い、財務状況がより良い数値になるよう今後も努力をしていく。
効率性	各施設とも職員数は必要人数での運営を行っている。23年度は各施設の利用者は増加しており、今後も収益力や施設利用率が向上するようさらに努力する。
総合的評価	H21年度策定の経営計画に基づき、健全な経営を行っており、おおむね良好である。今後も各施設とも利用者に安全で利用しやすい施設づくりに努めながら運営をしていく。H24年度から公益財団法人となり、経営体質の一層の強化を図っていく。



対応策	管理施設については、県民ニーズの的確な把握と積極的な事業展開、質の高いサービスの提供、また、経費削減のさらなる努力などにより、より評価の高い施設運営を行っていく。また、引き続き定期的に差異分析を行う中で経営課題を掘り起こし、その見直しを常時行うことにより健全経営に努めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	県民会館、生涯学習推進センター、男女共同参画推進センター、双葉ふれあい文化館の管理運営を行い、県民の文化振興、男女共同参画社会の推進を支援する事業を実施している。
計画性	経営計画に基づいた経営を行っている。社会情勢、経営状況等を勘案し、計画の見直しを行っていくことが望ましい。
組織運営の適正性	平成21年度から協会の経営形態が大幅に変わったことから、厳しい経営環境にはあるが、職員の適正配置、職務への動機付けに留意し、職員の自主性・創造性を引き出すよう務めることが必要である。
財務状況	平成21年度に経営状況が大きく変化したことから厳しい経営状況となっているが、経営計画に基づき一定の黒字を確保し、財政基盤の一層の安定化を図るため、基本財産の積み増しを行った。今後も収入の増加、経費の削減に努め、財務状況の安定化を図っていくことが求められる。
効率性	経営計画に基づき人件費の抑制、管理経費の削減に努めている。今後も魅力ある事業を実施、一層の県民サービスの向上を図るため、職員の適正配置に留意しつつ、積極的な事業展開を図る必要がある。
総合的評価	平成21年度から協会の経営形態の大幅な変化に伴い厳しい経営状況が続いているものの、経営計画に基づき人件費の抑制、管理費の削減、基本財産の積み増し等、健全経営に向けた努力を行っている。また、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した。今後も健全経営に向けた努力を続けるとともに、積極的な事業展開を図り、県民サービスの向上を推進していくこと。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">A (75%~)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">D (~50%)</div> </div> <p>・ 前年に引き続き、平成23年度決算も黒字を計上し、目標としている男女共同参画推進センターと双葉ふれあい文化館の利用者数も連続して増加している。</p> <p>・ 借入金等はなく健全な財務状況であるが、安定した経営体制を確保するためにもさらなる経費の抑制や収入増に努力する必要がある。</p> <p>・ 指定管理による収入が大きな柱となっているため、今後も職員の意識改革やサービスの向上など更新に向けた不断の取り組みが必要である。</p>
※ ランク下の%は得点率の範囲	



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>平成24年度から公益財団法人の認定を受け、より一層公益性を意識しながら、利用者へのサービス向上、経費の抑制等に留意して健全な法人運営を行っていく。また併せて、職員の資質を向上させるため各種研修会や資格取得講座への積極的な参加を促し、組織の活性化に努めていくこととする。さらに利用者ニーズに合わせた魅力ある事業展開を図り、公益財団法人として求められる社会的責任を果たせるよう努めていく。また平成26年度からの県立男女共同参画推進センターの2期目の指定管理者の更新については、過去の実績、県民ニーズ等を十分精査・把握する中で選定に向けて全力で取り組んでいく。</p>
--